

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和5年度第2回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和5年9月3日（日）午前10時00分～午前11時40分
開 催 場 所	米原市立山東図書館 研修室
出席者および欠席者	出席者：久保田吉則委員、河口久美子委員、谷口恵理委員、 澤頭英子委員、横山和子委員、西林正夫委員、 澤村貴生委員 欠席者：和田昌子委員、山口昌章委員、 事務局：平山生涯学習課長、梶川図書館長、松浦主幹、寺義主任
議 題	報告事項 （1）図書館運営に関する状況報告について （2）利用者様の声「レファレンスについて」 協議事項 （1）米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）内部評価 について その他 （1）雑誌スポンサー制度について （2）視察研修について
結 論 （決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載する。）	○内部評価について 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）1年目の内部評価（A～Eの5段階評価）について、協議の結果、5項目とも事務局案のとおりとなった。成果と課題の記述については、「2 誰もが安心して利用できる便利な図書館を目指します」の項目内の成果としてインターネットサービスの周知について追加することとなった。 ○視察研修について 視察先は事務局案の3館の中から、会長・副会長と事務局で協議の上、決定することとなった。
	■会長挨拶 市内の小中学校では、先週から2学期が始まりました。小学校で読み聞かせを行い、子どもたちの笑顔に元気もらいました。最近は低学年でも図書館に行ったことがあるという子が増え、学校関係者や学校司書、市立図書館の働きかけや保護者の理解によって、子どもが本を読みたいという気持ちになっているように思います。 本日は米原市立図書館サービス基本計画の内部評価を議題に会議を進めていきますので、活発な御意見をお願いします。 ■事務局

出席委員 7 人（9 人中）のため会議の成立を報告

前回欠席の委員自己紹介

報告事項（1）図書館運営に関する状況報告について

■事務局

【米原市立図書館 令和 5 年度の事業報告】に基づいて説明

■会長

以前イベントや展示について様々な提案をしました。それを反映し様々な取組を実施してもらえたように思います。

■委員

PR が上手くなったと思います。掲示板の使い方も良くなりました。

■委員

「夜のこわ〜いおばけのおはなし会」で、怖くて途中退室した子はいましたか。

■事務局

いません。怖がる子どもが多いのではないかと心配していましたが、皆さん最後まで参加してくれました。

■委員

イベントにプレゼントが多いのが気になります。プレゼント目的だけでなく、保護者の来館を促す企画を行うことで、子どもたちが図書館に来るきっかけになるのではないかと思います。

■委員

利用者はリピーターが多いのでしょうか。夏休み・冬休み等の長期休暇中に新たに利用された方が図書館の楽しさを知り、リピーターになると、図書館も発展できると思います。

■事務局

夏に新しい利用者が増えており、今後も利用していただけるよう取り組んでいきます。

新規の利用者層の増加について、今年度は生涯学習課の管轄する施設の夏イベントをまとめたチラシを配布しました。広い層にPRした成果が出たかと思っています。

■会長

イベントをどのように市民に伝えていくかが課題です。様々な媒体を使って広報していくと良いと思います。

■委員

様々な市民に図書館を利用してもらえるように、近くの学校等と連携した演奏会等の催しも是非増やしていただきたい。

■委員

多くの人の要望に応えようとする、図書館業務から逸脱し、職員に負担がかかっているように思います。この会議では図書館職員が図書館本来の仕事に集中出来るように考えないといけないかと思いません。

■会長

図書館の在り方も徐々に変わりつつあるので、市民の意見を取り入れながら図書館の状況とバランスをとって取り組んでいただきたいと思います。

報告事項（２）利用者様の声「レファレンスサービスについて」

■利用者

図書館業務の中にレファレンスサービスというものがあります。この便利なサービスについて、もっと多くの方に知っていただきたく、今回お話をさせていただきます。

所属団体で、年に1回冊子を発行しています。この冊子の作成には大量の文献が必要だったため、司書のレファレンスサービスなしでは到底完成させることは出来ませんでした。

また、通信教育講座受講中に多くの学术论文や専門書を読む必要がありましたが、全国の図書館から探し出して取り寄せてもらえ、大変感謝しています。

図書館は市民のレファレンスに答えられるようにいつでも準備してくださっています。レファレンスは図書館の中で重要なサービスですが、知らない方もいらっしゃると思います。市民が気軽にレファレンスを受けることができる環境を作り、サービスを利用してもらおうことで、米原市立図書館や米原市を活性化させていただきたいと思いません。

■委員

実際に大学に出向いての授業もあるかと思いますが大変でしたか。

■利用者

スクーリングは年に1回あり、1年目はコロナ禍で中止になりました。2年目は教授の講座を2日受け、3日目は現地研修でした。大変楽しい経験でした。

■事務局

米原市立図書館に無い本でも県内や県外から取り寄せて提供できます。このようなサービスを御存じでない方もたくさんいらっしゃると思うので、図書館に来れば相談できるということをもっと宣伝していく必要があると思います。

協議事項（１）米原市立図書館サービス基本計画（第２次計画）内部評価について

■会長

米原市立図書館サービス基本計画の内部評価について協議していただきます。一つずつ事務局から説明していただき、意見を願います。

1 市民の求める資料を提供します

■事務局

【米原市立図書館サービス基本計画（第２次計画） 内部評価（案）】に基づいて説明

■委員

市民一人当たり図書館貸出冊数の数値に意味はあるのですか。

■事務局

人口規模は財政規模や図書館の規模にも比例するので、その規模の中でどれくらい利用されているのかを他自治体と比較する指数としています。

■委員

米原市の図書館利用カード登録者数はどのくらいですか。

■事務局

令和４年度の米原市立図書館のカード登録者数は累計42,000人、米原市民のみだと累計29,000人がカードを登録しています。

■会長

他市でも市民一人当たり図書館貸出冊数を指標にして評価していますか。

■事務局

最新の計画の指標になっているか確認がありませんが、比較的ポピュラーな指標です。

■委員

課題として「郷土資料や行政資料を収集するとともに、学校での地域学習に役立つように情報発信していくこと」を挙げていますが、学

校図書館の活用方法を知らない先生も多く、図書館が学校での学習を支援する体制を整えていても利用できていないことを残念に思っています。

内部評価Cに決定

2 誰もが安心して利用できる便利な図書館を目指します

■会長

インターネットからの予約件数が増えています、インターネットサービスの登録者数が増えているのですか。

■事務局

増えています。

■委員

学校図書館でも公共図書館の利用について案内すると、利用が増えるのではないかと思います。

■委員

米原市では全ての小中学校に学校司書が配属されているので、うまく連携していけると良いと思います。

■委員

高齢者施設等への貸出冊数は達成の見込みはありますか。

■事務局

令和4年度からボランティアと協働で高齢者施設への配本を始めました。それが軌道に乗れば達成できる予定で積算しています。

■会長

配本希望の10施設のうち6施設はコロナ対策でボランティアの訪問を控えています。全ての施設にサービス提供できれば達成できると思います。

インターネットからの予約件数は、現時点で目標値を達成できそうですので、成果欄に記述してはどうですか。

■事務局

追加記述します。

内部評価Cに決定

3 だれもが進んで利用できる安心・安全・便利な図書館

■委員

児童書団体貸出冊数は実績値より目標値の方が低くなっていますが、なぜですか。また、1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合

の目標値が中学校は97%になっています。なぜ100%ではないのですか。

■事務局

令和2年度までの現状値を踏まえて令和3年度に指標の目標値を設定しています。想定以上に多くの団体貸出利用があったため、令和4年度の実績値が目標値を上回る結果となりました。

1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合の目標値は、中学校で100%を達成するのが難しいため、97%としています。

■会長

設定した目標は計画期間中に修正しないのですか。

■事務局

基本的にはそのままで行きたいと考えています。

■会長

絵本のセット貸出は先生が図書館に来て借りているのですか。

■事務局

はい。毎月先生が借りに来てくださる園もあります。

■委員

以前は園まで配本車で来てくださっていたので、その場で子どもたちが好きな本を選んでいましたが、今は先生が借りに行っています。子どもたちが図書館に行って本を借りる体験学習を計画できないかと考えています。

■事務局

是非来ていただきたいと思います。

内部評価Bに決定

4 市民と協議し、交流の場となる図書館を目指します

■委員

高齢者施設への読書支援ボランティアは何人いますか。

■会長

現在4人しかいません。10施設が読書支援を希望されていて、チラシを作成してボランティアを募っています。興味のある方は御協力いただけると幸いです。

内部評価Cに決定

5 山東図書館・近江図書館の個性を生かしたサービスを提供します

■会長

もっと職員数を増やす、あるいは予算を増やすように働きかけた方が良いと思います。

■事務局

正規職員は実質2人で、それ以外は会計年度任用職員で運営しているので、実情を踏まえて積極的に働きかけていきます。

内部評価Bに決定

その他（1）雑誌スポンサー制度について

■事務局

【資料】に基づいて説明

■会長

現在のスポンサー数はどれだけですか。

■事務局

山東図書館では29のスポンサーの方に42誌を、近江図書館では16のスポンサーの方に29誌を御支援いただいています。雑誌全体の1/3がスポンサー雑誌で成り立っています。

■委員

雑誌を購入する予算の1/3を他のことに使えるようになったということでしょうか。

■事務局

そうとも言えます。

■会長

読まれる雑誌とあまり読まれない雑誌があると思いますが、どうですか。

■事務局

人気の有無はあります。スポンサーになっていただく際には、お店の形態に沿った内容の雑誌が良いのではないかなども提案しながら進めさせていただいています。

その他（2）視察研修について

■事務局

【資料】に基づいて説明。視察先候補として「長浜市立高月図書館」「愛知川図書館・びんてまりの館」「多賀町立図書館」を提示

■委員

視察研修には何かテーマがあるのですか。

■事務局

	<p>他の複合施設の図書館と比較して御意見をいただく意図や、純然たる図書館と比較して御意見をいただく意図で視察先候補を挙げています。</p> <p>昨年度参加された委員からは他の事例を見る事が勉強になったとの意見があり、今年度は視察研修を第3回図書館協議会に位置付け、皆さんに御参加いただき他図書館の事例を見学します。会長・副会長と相談して事務局で視察先を決定します。後日日程調整をさせていただきます。</p> <p>その他</p> <p>■事務局</p> <p>この度100周年を迎える企業から、図書館に対して寄附の申し出をいただいております。利用者のために有効に活用させていただきます。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>
担 当 課	教育部 米原市立近江図書館 (内線 6540)